



# スワップボディコンテナ 運用説明

(株)ホームロジスティクス営業本部  
輸送部・物流センター運営部

# ■ 前回発表からの振り返り

	メリット	デメリット
運送会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ドライバー不足対策 ※コンプライアンス遵守 (荷役分離・待機時間削減・日中運行)</li> <li>②けん引免許不要</li> <li>③ランニングコスト減 ※箱の重量税・車検不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦導入コスト大 シャーシ①・箱①の通常10t車との 差額が約120~200万円</li> <li>⑧ドライバー脱着練習必要</li> </ul>
荷主 (NTR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>④輸送コスト削減 ※トータル物流コスト減</li> <li><b>⑤庫内作業円滑化</b> ※出庫と同時に箱準備必要</li> <li>⑥品質向上 ※積込スキルの蓄積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>⑨脱着にバースから 25m以上必要</b> ※切り離しはDC拠点・営業所一部のみ</li> <li>⑩専用ジグが必要 ※大型スロープ・レベラー・箱管理GPS</li> <li><b>⑪人件費増加</b> ※積込スキル教育必要</li> <li><b>⑫スワップ保管場所(追加)</b></li> <li><b>⑬納期問題(追加)</b></li> </ul>

# ■メリット：⑤庫内作業円滑化

関東DC 作業状況	出庫開始	3時間経過	6時間経過（出庫完了）
<p>スワップ 出庫 バース</p>			
<p>通常作業 出庫 バース</p>			

# ■ スワップ車両と通常車両の倉庫稼働時間の比較

関東DC出荷バス別稼働時間

…… 出庫時間  
 …… 積み込み時間  
 …… 予備時間

バス番号	シフト番号	積み込み車両	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	1時	2時	3時	4時	5時	6時
46	13	10t車1台目																								
47	13	10t車2台目																								
48	13	10t車3台目																								
49	14	スワップボディ1台目																								
50	14	スワップボディ2台目																								
51	14	スワップボディ3台目																								
52	15	スワップボディ4台目																								
53	15	スワップボディ5台目																								

16時のスワップバス



16時の10t車バス



## ■ 課題：⑨スワップボディの脱着条件

### スワップボディコンテナの着脱するための絶対条件

脱着時バースから直線で25m以上必要、拡大には広い敷地が必須  
切り離しができる事業所は20拠点(全体の22.2%)に留まる

### スワップ脱着条件



## ■ 脱着可能な条件の定義

- ①着車スペースの確保(バースから前方25メートル以上)
- ②夜間の着車が可能であること(倉庫近隣住民対策)
- ③夜間から日中まで着車したままで問題が発生しないこと(倉庫キャパ)



## ■ 脱着不可能な事業所のスペース事情

- ①着車スペースの確保(バスから前方25メートル以上)
- ②アスファルトの陥没や段差が激しい場合(設置時のグラつき)
- ③接車バースの傾斜が大きい場合(2度以上の傾斜は接車不可)



## ■ 課題：⑪ 人件費増加(作業スキル教育)

### 倉庫で積み込みをする上での問題点

- ① 車両への積み込み知識不足
- ② 積み込み作業の経験不足
- ③ 個人のスキルに差が発生する



# ■ 作業スキル教育への対応①

荷姿別	板物	納入 標準
<p>板物は立てた状態(横積み)にします</p>		
	他商品の横方向間にできた隙間に入れて固定します。	
	多数の場合は積み重ねも可。 ※動かないよう固定します。 「資材・道具による固定」参照。	

作成(改定)日 2017/11/20  
承認者 営業本部オアシスマネジャー

9

## 社内マニュアルを元にOff-JT教育

営業所運営部で使用されている  
マニュアル(積み込み基準書)を  
もとに知識取得

- ・ 商品の積み込み方
- ・ 梱包に印字されている表示の見方
- ・ 出荷ラベルの見方
- ・ 養生材の使用方法など

## ■ 作業スキル教育への対応②



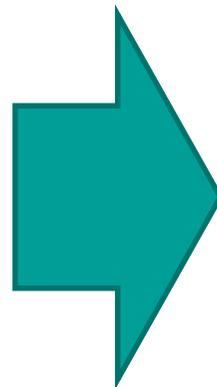
### 教育研修部トレーナーからOJT教育

10t車を使用して実際の荷物で積み込みを体験学習することで、現場で使える技術を取得。社内の教育担当トレーナーが講師として教育。

被教育者は自社従業員のみならず倉庫委託先管理者に対しても実施。スワップ1台の積み込み時間は平均1.5時間。ドライバーが固定されない10t車の場合1.5～4時間。

## ■ 作業スキル教育への対応②

項目	10t車
積込時間	2～3.5時間
積込スキル	ドライバー 次第
バース回転	コントロール 不可



項目	スワップボディ
積込時間	1.5～2時間
積込スキル	積込専用 スタッフ 実施
バース回転	コントロール 可能

## ■ 課題：⑫スワップボディ保管場所

埼玉・神戸の物流拠点において、スワップボディ仮置きスペースが確保できない。※両拠点の日別の入荷、出荷物量は以下を参照

入荷・・・日当たりでコンテナ50本相当の入荷

出荷・・・日当たりで10t車100台相当の出荷

入荷スペース



出荷スペース



台切スペース



# ■ コンテナ保管スペースの課題



# ■ コンテナ保管スペースの課題



## ■ 課題：⑬ スワップボディ納期問題

2019年度のスワップボディ拡大において、箱の納期問題が表面化。  
2018年12月の発注で箱の最短納期が2019年5月以降。  
ひと月でウイング仕様2箱、バン仕様1箱の合計3箱の製造が限界。

### 2019年度 箱購入計画

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ウイング	2箱	2箱	2箱	2箱	2箱	2箱	2箱	2箱
バン	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱	1箱
合計	3箱	3箱	3箱	3箱	3箱	3箱	3箱	3箱

---

ご静聴ありがとうございました